

# CVEM2022

The 26th Scientific Session of the Society of  
Cardiovascular Endocrinology and Metabolism

第26回 日本心血管内分泌代謝学会学術総会

CVEM, the Past, Present, and Future

Date **October 12, 2022 (WED)**

Venue **Kyoto International  
Conference Center  
国立京都国際会館**

Chair **Masashi Mukoyama, MD, PhD**

Department of Nephrology  
Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences  
熊本大学大学院生命科学研究部 腎臓内科学講座 向山政志

プログラム

# 目次

会長挨拶	3
開催概要	4
参加者へのご案内	5
座長・発表者へのご案内 -シンポジウム・特別講演・受賞講演・YIA-	7
座長・発表者へのご案内 -一般演題ポスター発表-	9
アクセス	11
フロアマップ	12
日程表	13
プログラム	15
協賛一覧	29



第26回日本心血管内分泌代謝学会学術総会  
会長 向山 政志  
熊本大学大学院生命科学研究部 腎臓内科学



この度、第26回日本心血管内分泌代謝学会学術総会を International Symposium on Cardiovascular Endocrinology and Metabolism と合同開催という形で2022年10月12日(水)、国立京都国際会館を会場として開催致します。

これまでCVEMはしばらく、循環器・代謝・内分泌などに関係している国内の学会がいくつか集まって心血管代謝週間(CVMW)という形で共同開催し大変好評でありましたが、今回は第18回学術総会(横浜、梅村敏会長)以来、8年振りの単独開催となります。とはいっても、直後の10月12日夕から16日にかけて国際高血圧学会(ISH2022 Kyoto)が大々的に行われるため、その先陣を切った開催という意味も含んでおります。そのため、今回は特に国際色豊かなものにするべく、招待講演やシンポジウム、受賞講演、YIA審査講演はすべて英語の発表としています。国内参加者は現地参加を基本としていますが、コロナ禍の終息がなかなか見通せない状況の下、開催形式をWeb併用のハイブリッドとする予定で、海外演者も比較的参加しやすいような環境にしたいと考えます。またそれ以外に、従来通りの日本語でのポスター発表も設けており、若手企画や協賛セミナーを含め、学会を盛り上げていきたいと思っております。

CVEM2022のテーマは、“CVEM, the Past, Present, and Future”としました。実際、CVEMの歴史を振り返ると、ナトリウム利尿ペプチドやエンドセリンの発見に始まってこの40年間で大きく進展を遂げ、臨床応用が展開されてきました。そして、それら多くの研究を我が国の研究者が牽引し世界に貢献してきました。本学会では、CVEM領域研究の流れを理解、議論するとともに、今後CVEMが進むべき方向性についても討議していきたいと考えます。そして、海外からの参加者には、日本に学際的で興味深くかつ極めて高いレベルの学会があることをアピールできればと思います。

新専門医制度がスタートして、専門医制度を持たない学会の会員数が若手中心に減少傾向にあります。しかし、本学会は基礎医学・臨床医学が融合し、極めて高い学術レベルを維持しているとともに、専門分野にとらわれない自由な発想・研究方法を学ぶのに大変よい機会となっています。本会が会員の方々に満足していただけるよう関係者一同一丸となって準備しながら、皆様とお会いできるのを楽しみにしています。2022年秋、是非京都でお会いしましょう！

令和4年10月吉日

## 開催概要

**学会名・会長：**

**第26回日本心血管内分泌代謝学会学術総会 (CVEM2022)**

向山 政志 (熊本大学大学院生命科学研究部 腎臓内科学 教授)

**会期：**

2022年10月12日(水)

**会場：**

国立京都国際会館

〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町422番地

ホームページ：<https://www.icckyoto.or.jp/>

**運営事務局：**

株式会社コンベンションリンクージ内

〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町2番17号 第2甲斐田ビル5階

TEL：096-288-0882 FAX：096-288-0883

E-mail：cvem2022@c-linkage.co.jp

**大会ホームページ：**

<https://www.c-linkage.co.jp/CVEM2022/>

# 参加者へのご案内

## 参加登録

WEB参加、現地参加どちらも事前にオンラインで参加登録をお願いします。

参加登録期間：2022年8月26日（金）～2022年10月31日（月）正午

参加登録はオンラインのみです。

名札・参加証明書・領収書は参加登録後ホームページからダウンロードしてください。

当日受付では名札ケース/ストラップおよびポケットプログラムをお渡しします。

\*現地参加される場合は、必ず10月11日までに事前登録を行い、名札を印刷してお持ちください。

**学会参加費：一般（会員/非会員） 5,000円**

**学会参加費：初期研修医および学部学生 無料**

大学院生は一般の参加費をお支払いいただけます。

事前にオンラインにて参加登録を必ずしてください。

登録の際、学生証もしくは初期研修医の証明書の画像のアップロードをお願いいたします。

## 開催形式について

本学術総会は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、国立京都国際会館での現地開催に加え、会期後に要望演題・一般演題・共催セミナーを除くプログラムを Web にてオンデマンド形式で配信いたします。

当日のライブ配信はございません。

オンデマンド配信期間：会期後～2022年10月31日（月）正午予定

視聴サイト：本学術総会HPより視聴サイトへリンクいたします。閲覧には参加登録いただきます。参加登録いただいた方に、ログインIDとパスワードをお知らせします。

## 参加受付およびクローク

国立京都国際会館 New Hall

10月12日（水） 8：00～15：00

\*セキュリティ強化のため、写真付きID（運転免許証、パスポートなど）をご提示いただけます。

\*手荷物検査がありますので、混雑する可能性があります。お早めに受付にお越しください。

\*必ず事前に名札を印刷してお持ちください。

## 名札

学会期間中、会場内では必ず名札を着用してください。

## プログラム・抄録集

参加登録いただいた方は、ホームページからPDFをダウンロードいただけます。

参加登録いただいた方にログインIDとパスワードをお知らせします。

## PC受付

国立京都国際会館 Room H

10月12日（水） 8：00～15：00

### 禁煙のお願い

会場内はすべて禁煙です。

### 撮影及び録音

会場内での許可のない撮影および録音は禁止いたします。

### 携帯電話のご利用

講演会場内での使用は禁止いたします。また、会場内では電源をOFFにするか、マナーモードに設定をお願いいたします。

### 呼び出し

会場内での呼び出しは、原則として行いません。

### 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医の単位登録について

内分泌代謝科専門医資格を取得されている方は、学術集会へのご出席で、更新研修単位として参加単位5単位が付与されます。

単位登録票は準備しておりませんので、更新時まで参加証明書を保管して頂き、更新申請書と一緒にコピーをご提出下さい（更新申請書は日本内分泌学会事務局よりお送り致します）。

学術集会終了後に参加証明書を郵送されましても単位登録はできませんので、ご注意ください。

指定講演が設定されている場合は、更新時に受講証明書をご提出ください。

### ランチョンセミナー・アフタヌーンセミナー

整理券の配布はありません。直接会場へお越しください。

入場は先着順とさせていただきます。

### 関連会議日程

委員会	日時	場所
日本心血管内分泌代謝学会 理事会	10月11日(火) 17:00～18:00	京都烏丸コンベンションホール
ISH2022 <a href="https://www.ish2022.org/">https://www.ish2022.org/</a>	10月12日(水)～16日(日)	国立京都国際会館

# 座長・発表者へのご案内 -シンポジウム・特別講演・受賞講演・YIA-

## 演者の方へ

1. 各演者の発表時間は事前にご案内した通りです。指定された時間内での発表をお願いいたします。
2. 発表は、PCプレゼンテーションのみといたします。
3. セッション開始30分前までにPC受付(国立京都国際会館本館1F Room H)にて発表データの受付をお済ませください。

## PC発表データ作成についてのお願い

1. プレゼンテーション作成ソフトは、Windows版PowerPoint(バージョン2016/2019/office365)を使用してください。文字フォントは、Windows標準のものをご使用ください。これ以外の文字フォントを使用した場合は、文字、段落のくずれ、文字化け、表示されないなどのトラブルが発生する可能性があります。
2. スライドサイズは16:9を推奨します。(4:3でも可)
3. お持ち込み頂けるメディアは、USBフラッシュメモリもしくはCD-R(CD-RW不可)です。
4. CD-Rへの書き込みの際は、ファイナライズ(使用したファイルを閉じる)作業を必ず行ってください。この作業が行われなかった場合は、データを作成したPC以外で開くことができなくなることがあります。あらかじめ、CD-Rを作成したPC以外でもデータを開くことができることをご確認ください。
5. メディアには、当日発表されるデータ以外のデータは入れないようにしてください。データのファイル名には、演題番号(半角)に続き、発表者の氏名(漢字)を必ず入れてください。例: X1-1\_京都太郎
6. 不意のアクシデントに備え、必ずバックアップデータをご持参ください。PCに取り込んだ発表データは、ご発表終了後、運営事務局で責任をもって消去いたします。
7. 会場でご用意する接続コネクタはHDMI、もしくはD-sub15ピンです。この形状に変換するコネクタを必要とする場合には、必ずご自身でお持ちください。運営事務局からの貸し出しはございません。またスクリーンセーバー、省電力設定、ログインパスワード等をあらかじめ解除しておいていただきますよう、お願いいたします。
8. Macintoshでプレゼンテーションデータを作成される方は、ご自身のPCをお持ち込みください。その場合、VGAもしくはHDIの変換アダプターもご持参ください。(アップル純正品またはアップル認定品を推奨します)
9. セッションの進行および演出スペースの関係上、「発表者ツール」は使用できません。発表原稿が必要な方は予めプリントアウトをお持ちください。
10. すべてのセッションのご発表時に、必ず利益相反(COI)に関するスライドを1枚目に提示してください。

## 使用言語

原則として英語。

ただし、ランチョンセミナー、アフタヌーンセミナーとポスター発表は日本語も可。

## 発表形式

1. 現地開催です。ライブ配信は行いません。
2. 第1会場 (Room D) のみリモート登壇可能です。
3. 第2会場 (Room C-1) で開催される YIA 審査講演および若手シンポジウムは、現地開催ですが、事前にご提出いただいた発表データを上映後、現地で質疑応答いただきます。
4. ポスター会場 (Room E) は現地開催のみです。
5. 特別講演、会長講演、シンポジウム 1、2、3、若手シンポジウムおよび YIA 審査講演は、現地開催後、当日発表または事前に提出いただいた音声付き動画を、同意が得られた演題のみオンデマンド配信する予定です。

## 座長の方へ

1. ご担当セッション開始の15分前までに、会場内の次座長席にご着席ください。
2. 各セッションの進行は座長に一任いたします。限られた時間内で発表が円滑に進むよう、ご配慮ください。

## セッション進行方法

1. セッション時間になりましたら、運営事務局にてセッション開始のご案内をいたします。
2. 上記案内終了後、座長の進行により、セッションを開始してください。
3. 発表終了後、座長の進行で質疑応答を実施して発表を終了してください。  
※質疑応答の内容・時間については座長に一任いたします。
4. 発表終了後、セッション内に次の演者がいらっしゃる場合には、座長は次の演者の発表開始を指示してください。  
※以降セッション内の演者全員の発表が終わるまで3～4を繰り返し
5. セッション内の全ての発表が終わったら、セッションを終了してください。

## 座長・発表者へのご案内 ー一般演題ポスター発表ー

### 会場

国立京都国際会館 B1F Room E

### ポスターの掲示・撤去について

右図参照の上、指定の場所にポスターを貼付してください。

画鋲は会場内に用意してあります。

- ・パネルの大きさは、縦210cm×横90cmです。
- ・上部に演題名、演者名、所属を縦20cm×横70cmサイズで表記してください(演題番号は運営事務局で用意します)。



※演題番号は予め貼付してあります。

### <ポスター貼付時間>

10月12日(水) 8:00～9:00(ポスター発表1および2)

### <ポスター発表時間>

セッション名	時間	演題番号
ポスター発表1	10:45～11:25(40分)	P1-1～P1-18
ポスター発表2	14:10～14:50(40分)	P2-1～P2-14 および YIA1-1～YIA1-5とYIA2-1～YIA2-5

### <ポスター撤去時間>

10月12日(水) 14:55～15:45(ポスター発表1および2)

※上記時間を過ぎても掲示されているポスターは、運営事務局にて撤去・破棄いたします。

### **ポスター討論について**

発表の待ち時間は、お一人8分(発表5分/質疑3分)です。  
各セッションの座長の指示に従って実施してください。  
発表時間の5分前にはご自身のポスター前で待機してください。

### **使用言語について(ポスター作成・発表)**

<一般演題> ポスターおよびスピーチ：日本語または英語  
<YIA> ポスター：英語  
スピーチ：日本語または英語

### **利益相反(COI)開示について**

全ての演題のご発表時に必ず利益相反(COI)に関する記載を、ポスターボード右下方に入れてください。詳細は大会ホームページでご確認ください。

### **ポスターセッション座長の方へ**

活発な討論が行われますよう、積極的な進行をお願いいたします。  
プログラムの指定時間を厳守してください。  
討論開始の15分前までに、座長受付(ポスター会場前)までお越しください。  
発表時間の5分前にはご自身のポスター前で待機してください。

# アクセス

## 国立京都国際会館

〒606-0001 京都市左京区岩倉大鷲町 422

URL: <https://www.icckyo.or.jp/>

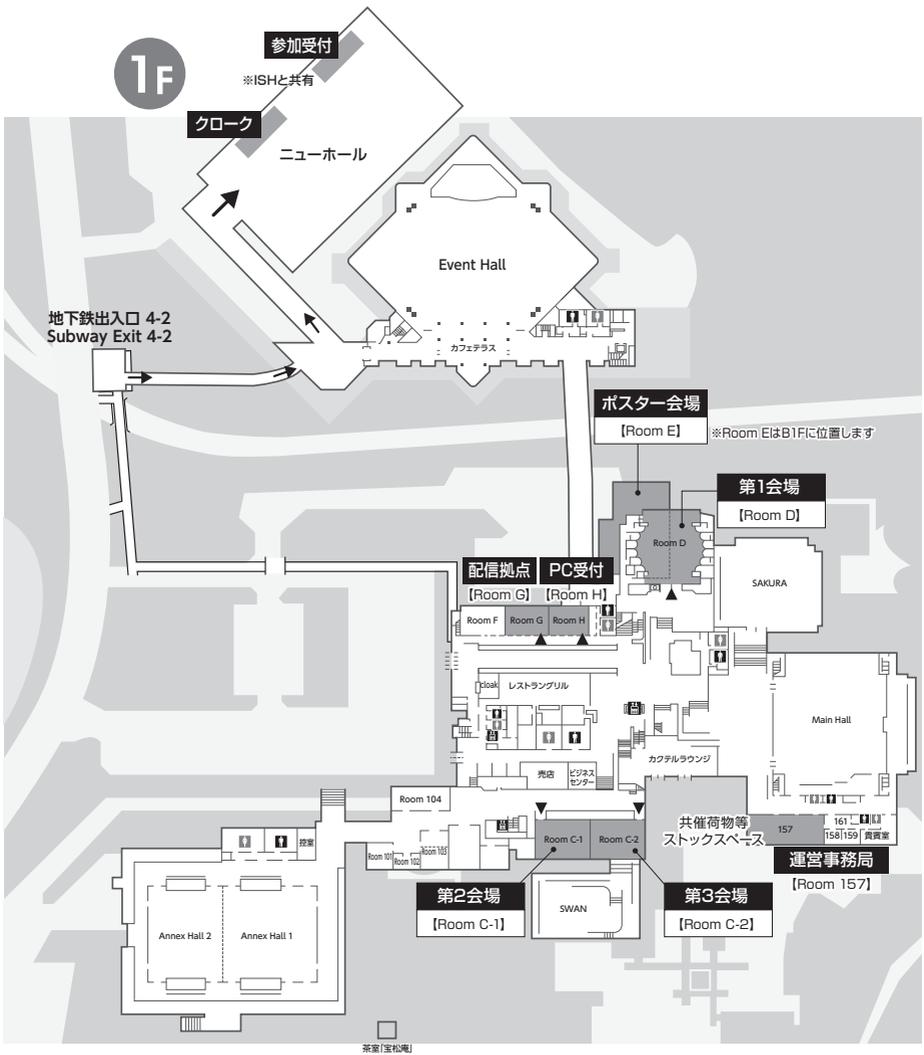
## 国立京都国際会館アクセス



- JR「京都駅」から学術総会会場の最寄駅「国際会館駅」までは、乗り換えなしで約20分となります。  
また、タクシーでJR「京都駅」から当館までは、平常時で約30分となります。
- 地下鉄烏丸線「国際会館駅」から徒歩5分  
改札から地下通路を通り出入口4-2をご利用ください。  
出入口からは、歩廊に沿って雨に濡れずに正面玄関までお越し頂けます。
- 京都市バス・京都バス「国際会館駅前」から徒歩5分



# フロアマップ



# 日程表 10月12日(水)

	第1会場 Room D	第2会場 Room C-1	第3会場 Room C-2	ポスター会場 Room E
8:00				
	8:40-8:50 開会の辞			
9:00	8:50-10:05 シンポジウム1 心不全、多臓器連関と生体制御 Heart failure, organ cross-talk and cardiovascular regulation 座長：中川 修 吉江 幸司 演者：名越 智古 尾上 健児 堀江 貴裕 武田 憲彦	8:50-10:05 YIA審査講演1 座長：森原 孝成 中野 大介 演者：藤本 大介 安部えりこ 林 浩也 伊藤 祐規 尾崎 祐太		
10:00	10:05-10:40 特別講演 Cardiac inflammation and degradation systems 座長：向山 政志 演者：大津 欣也			
11:00	10:45-12:00 シンポジウム2 腎臓における体液・電解質調節 の新知見 Advances in fluid-electrolyte homeostasis by the kidney 座長：横井 秀基、長洲 一 演者：北田 研人、森 雄太郎 横井 秀基、Jens Titze	10:45-12:00 YIA審査講演2 座長：吉田 陽子 有馬勇一郎 演者：岩橋 徳英 山本 正啓 宮原 大輔 南 善人 高橋 弘武		10:45-11:25 ポスター発表1 座長：中川 修 <P1-1 ~ 1-5> 座長：吉江 幸司 <P1-6 ~ 1-9> 座長：河原崎和歌子 <P1-10 ~ P1-13> 座長：木内謙一郎 <P1-14 ~ P1-18>
12:00	12:05-12:50 ランチョンセミナー 1 座長：柏原 直樹 演者：柴田 茂 共催：バイエル薬品株式会社	12:05-12:50 ランチョンセミナー 2 座長：南野 徹 演者：岸 拓弥 共催：日本ペーリンガー・インゲルハイム株式会社	12:05-12:50 ランチョンセミナー 3 座長：中尾 一和 演者：千葉あすみ Luis Miguel Ruilope 共催：ノバルティス ファーマ株式会社 大塚製薬株式会社	
13:00	12:55-13:15 会長講演	CVEM, natriuretic peptides, and metabolic kidney disease 座長：齋藤 能彦 演者：向山 政志		
	13:15-14:05 高峰譲吉賞・高峰譲吉研究 奨励賞・中尾一和賞受賞講演 座長：向山 政志 吉村 道博 演者：吉村 道博 遠山 周吾 山城 義人			
14:00	14:10-15:25 シンポジウム3 メタボリックシンドロームと 抗加齢・再生医学 Metabolic syndrome, anti-aging and regenerative medicine 座長：木内謙一郎、人見 浩史 演者：木内謙一郎、人見 浩史 伊藤美智子、吉田 陽子	14:40-15:25 若手シンポジウム これからのCVEM： CVEM and beyond 座長：清水 逸平、河原崎和歌子 演者：米代 武司、佐藤 有紀 田中 都	14:40-15:25 アフタヌーンセミナー 座長：佐野 元昭 演者：桑原宏一郎 共催：アストラゼネカ株式会社、 小野薬品工業株式会社	14:10-14:50 ポスター発表2 座長：名越 智古 <P2-1 ~ P2-5> 座長：長洲 一 <P2-6 ~ P2-9、P2-14> 座長：小山 晃英 <P2-10 ~ P2-13>
15:00	15:25-15:30 閉会の辞/YIA表彰式			YIA 一次選考演題 座長：菅波 孝祥 <YIA1-1 ~ YIA1-5> 座長：泉 裕一郎 <YIA2-1 ~ YIA2-5>



プログラム

## 特別講演

### 特別講演

10月12日(水) 10:05~10:40 第1会場(Room D)

Chair : Masashi Mukoyama (Department of Nephrology, Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences)

SP-1

### Cardiac inflammation and degradation systems

Kinya Otsu (National Cerebral and Cardiovascular Center)

## 会長講演

### 会長講演

10月12日(水) 12:55~13:15 第1会場(Room D)

Chair : Yoshihiko Saito (Nara Prefectural Seiwa Medical Center)

SP-2

### CVEM, natriuretic peptides, and metabolic kidney disease

Masashi Mukoyama (Department of Nephrology, Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences)

## シンポジウム

### シンポジウム 1

10月12日(水) 8:50~10:05 第1会場 (Room D)

#### 【心不全、多臓器連関と生体制御

#### Heart failure, organ cross-talk and cardiovascular regulation】

Chairs : Osamu Nakagawa (Department of Molecular Physiology, National Cerebral and Cardiovascular Center)

Koji Yoshie (Department of Cardiovascular Medicine, Shinshu University School of Medicine)

#### S1-1 New Role of Natriuretic Peptide in the Pathophysiology of Heart Failure and its Therapeutic Potential through Interorgan Metabolic Crosstalk

Tomohisa Nagoshi (Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, The Jikei University School of Medicine)

#### S1-2 Cardio-Renal syndrome ~The cross-talk between the heart and the kidney~

Kenji Onoue (Department of Cardiovascular Medicine, Nara Medical University)

#### S1-3 Identification of metabolic regulatory mechanism by non-coding RNA

Takahiro Horie (Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto University)

#### S1-4 The roles of hypoxia signaling in cardiovascular remodeling

Norihiko Takeda (Division of Cardiology and Metabolism Center for Molecular Medicine Division of Cardiovascular Medicine Jichi Medical University)

### シンポジウム 2

10月12日(水) 10:45~12:00 第1会場 (Room D)

#### 【腎臓における体液・電解質調節の新知見

#### Advances in fluid-electrolyte homeostasis by the kidney】

Chairs : Hideki Yokoi (Department of Nephrology, Graduate School of Medicine, Kyoto University)

Hajime Nagasu (Department of Nephrology/Hypertension, Kawasaki Medical School)

#### S2-1 Rethinking of body fluid and electrolyte regulation from the perspective of fluid loss and dehydration stress response

Kento Kitada (Department of Pharmacology, Faculty of Medicine, Kagawa University)

#### S2-2 KIM-1 mediates fatty acid uptake by renal tubular cells to promote progressive diabetic kidney disease

Yutaro Mori (Department of Nephrology, Graduate School of Medical and Dental Sciences, Tokyo Medical and Dental University)

#### S2-3 Role of natriuretic peptides on blood pressure and renal homeostasis

Hideki Yokoi (Department of Nephrology, Graduate School of Medicine, Kyoto University)

#### S2-4 Dehydration in arterial hypertension

Jens Titze (Cardiovascular and Metabolic Disease Programme, Duke-NUS Medical School, Singapore)

### [メタボリックシンドロームと抗加齢・再生医学]

#### Metabolic syndrome, anti-aging and regenerative medicine]

Chairs : Kenichiro Kinouchi (Division of Endocrinology, Metabolism, and Nephrology, Department of Internal Medicine, Keio University School of Medicine)

Hirofumi Hitomi (Department of iPS Stem Cell Regenerative Medicine, Kansai Medical University)

S3-1

#### Metabolic coordination by timekeeping

Kenichiro Kinouchi (Division of Endocrinology, Metabolism, and Nephrology, Department of Internal Medicine, Keio University School of Medicine)

S3-2

#### Altered cholesterol metabolism in macrophages triggers profibrotic phenotypic changes in metabolic syndrome

Michiko Itoh (Department of Molecular Medicine and Metabolism, Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University/Kanagawa Institute of Industrial Science and Technology)

S3-3

#### The role of cellular senescence in the pathologies of cardiovascular-metabolic diseases

Yohko Yoshida (Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine/Department of Advanced Senotherapeutics, Juntendo University Graduate School of Medicine)

S3-4

#### Development of novel therapies using human iPS cell-derived endocrine cells

Hirofumi Hitomi (Department of iPS Stem Cell Regenerative Medicine, Kansai Medical University)

## 若手シンポジウム

10月12日(水) 14:40~15:25 第2会場(Room C-1)

### [これからのCVEM : CVEM and beyond]

Chairs : Ippeei Shimizu (Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine)

Wakako Kawarazaki (Center for Basic Medical Research, International University of Health and Welfare)

SY-1

#### Brown adipose tissue controls energy homeostasis: roles of branched-chain amino acids

Takeshi Yoneshiro (Division of Metabolic Medicine Research Center for Advanced Science and Technology The University of Tokyo)

SY-2

#### Tertiary Lymphoid Tissues: An Interface between Immune Aging and Kidney Diseases

Yuki Sato (Division of Immunology and Rheumatology, Mayo Clinic, MN, USA/Department of Nephrology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan)

SY-3

#### Clearance of dead cells and altered cellular metabolism in macrophages as a novel molecular mechanism of chronic inflammation.

Miyako Tanaka (Department of Molecular Medicine and Metabolism, Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University)

## 受賞講演

### 高峰讓吉賞・高峰讓吉研究奨励賞・中尾一和賞受賞講演

10月12日(水) 13:15~14:05 第1会場 (Room D)

Chairs : Masashi Mukoyama (Department of Nephrology, Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences)

Michihiro Yoshimura (Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, The Jikei University School of Medicine)

AW-1

(高峰讓吉賞)

#### Pathophysiological studies of heart failure and ischemic heart disease from the perspective of endocrinology and metabolism

Michihiro Yoshimura (Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, The Jikei University School of Medicine)

AW-2

(高峰讓吉研究奨励賞)

#### Metabolism-Based Cardiac Regenerative Therapy with Human Pluripotent Stem Cells

Shugo Tohyama (Department of Cardiology, Keio University School of Medicine)

AW-3

(中尾一和賞)

#### What have we learned from basic research for aortic aneurysms so far?

Yoshito Yamashiro (University of Tsukuba, TARA Center/Department of Advanced Medical Technologies, National Cerebral and Cardiovascular Center Research Institute)

## 共催セミナー

### ランチョンセミナー 1

10月12日(水) 12:05~12:50 第1会場 (Room D)

Chair : Naoki Kashihara (Chair and Professor, Department of Nephrology and Hypertension, Kawasaki Medical School)

LS-1

#### Role of Mineralocorticoid Receptor in the pathophysiology of CKD

Shigeru Shibata (Professor, Division of Nephrology, Department of Internal Medicine, Teikyo University School of Medicine)

共催：バイエル薬品株式会社

### ランチョンセミナー 2

10月12日(水) 12:05~12:50 第2会場 (Room C-1)

Chair : 南野 徹 (順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科 教授)

LS-2

#### SGLT2阻害薬が教えてくれた慢性心不全の目指すべき標準的薬物治療 ~まだできる・もっとできる~

岸 拓弥 (国際医療福祉大学 福岡薬学部 教授)

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

### ランチョンセミナー 3

10月12日(水) 12:05~12:50 第3会場 (Room C-2)

Chair : 中尾 一和 (京都大学医学研究科 メディカルイノベーションセンター  
京都大学名誉教授 & 特任教授)

LS-3-1

#### 高血圧におけるサクビトリルバルサルタンの降圧機序

千葉あずみ (ノバルティス ファーマ株式会社 メディカル・アフェアーズ本部)

LS-3-2

#### ROLE OF SACUBITRIL-VALSARTAN IN THE TREATMENT OF ARTERIAL HYPERTENSION

Luis Miguel Ruilope (Advisor of Cardiovascular and Renal Risk area at Instituto I+12. Hospital 12 de Octubre)

共催：ノバルティス ファーマ株式会社、大塚製薬株式会社

### アフタヌーンセミナー

10月12日(水) 14:40~15:25 第3会場 (Room C-2)

Chair : 佐野 元昭 (慶應義塾大学医学部循環器内科 准教授)

AS-1

#### Impact of SGLT2 Inhibitors in Heart Failure

桑原宏一郎 (信州大学医学部 循環器内科学 教授)

共催：アストラゼネカ株式会社、小野薬品工業株式会社

## YIA 審査講演

### YIA 審査講演 1

10月12日(水) 8:50~10:05 第2会場 (Room C-1)

Chairs : Takashige Kuwabara (Department of Nephrology, Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences)

Daisuke Nakano (Department of pharmacology, Kagawa University)

YIA1-1

#### Exploration of novel exosome-targeted strategy for diabetic kidney disease by drug library screening to inhibit intraglomerular crosstalk

Daisuke Fujimoto (Department of Nephrology, Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences)

YIA1-2

#### Identification of transferrin receptor 1 as a novel interacting factor of angiotensin II type 1 receptor-associated protein (ATRAP)

Eriko Abe (Department of Medical Science and Cardiorenal Medicine, Yokohama City University Graduate School of Medicine)

YIA1-3

#### miR206 secreted from growing skeletal muscle promotes angiogenic response in endothelial cells

Hiroya Hayashi (Department of Cardiovascular Medicine, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine)

YIA1-4

#### A site-specific phosphorylation of tau protein induced by diabetes mellitus exacerbates behavioral defect in Alzheimer's disease mouse model

Yuki Ito (Department of Clinical Gene Therapy, Graduate School of Medicine, Osaka University/Osaka Psychiatric Research Center, Osaka Psychiatric Medical Center)

YIA1-5

#### Role of the endocrine factor "myonectin" in maintaining skeletal muscle function

Yuta Ozaki (Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine)

### YIA 審査講演 2

10月12日(水) 10:45~12:00 第2会場 (Room C-1)

Chairs : Yohko Yoshida (Department of Cardiovascular Biology and Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine)

Yuichiro Arima (Developmental Cardiology Laboratory, International Research Center for Medical Science(IRCMS), Kumamoto University)

YIA2-1

#### Characterization of aldosterone-producing cell cluster (APCC) at single-cell resolution

Norifusa Iwahashi (Department of Medicine and Bioregulatory Science, Graduate School of Medical Sciences, Kyushu University)

YIA2-2

#### Human Epididymis Protein 4 Predicts Progressive Interstitial Fibrosis and Cardiovascular Events in Patients with Dilated Cardiomyopathy

Masahiro Yamamoto (Department of Cardiovascular Medicine, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University, Kumamoto, Japan)

**YIA2-3**

### **The importance of NP activity reserve in heart failure patients**

Daisuke Miyahara (Department of cardiovascular medicine, National Cerebral and Cardiovascular Center)

**YIA2-4**

### **Liver lipophagy ameliorates nonalcoholic fatty liver disease through lysosomal exocytosis.**

Yoshito Minami (Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto Prefectural University of Medicine/Department of Cardiovascular Medicine, Omihachiman Community Medical Center)

**YIA2-5**

### **Substantial impact of 3-iodothyronamine on the regulations of intracellular temperature and natriuretic peptide expression in cardiomyocytes**

Hirotake Takahashi (Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, The Jikei University School of Medicine)

## 一般演題 (ポスター発表 1)

### ポスター発表 1

10月12日(水) 10:45~11:25 第3会場 (Room E)

Chair : Osamu Nakagawa (Department of Molecular Physiology, National Cerebral and Cardiovascular Center)

**P1-1** **A role of Hey2 transcription factor for right ventricle development through regulation of Tbx2-Mycn pathway during cardiac morphogenesis**

Daiki Seya (Dept. of Cell Physiol., The Jikei Univ. Sch. of Med./Dept. of Physiol. Chem. and Metab., Grad. Sch. of Med., The Univ. of Tokyo)

**P1-2** **Changes in oxygen-sensitive genes in rat pulmonary veins before and after birth**

Daiki Seya (Dept. of Mol. Physiol., Nat'l. Cerebral & Cardiovascular Ctr. Res. Inst.)

**P1-3** **シングルセルマルチオミクスと空間トランスクリプトームデータから紐解く心臓神経堤細胞の分化多様性制御機構**

岩瀬 晃康 (東京大学大学院 医学系研究科 代謝生理化学分野)

**P1-4** **発生期心臓におけるマクロファージの神経堤細胞との連携による冠血管・リンパ管形成制御への関与**

来田真友子 (東京大学大学院 医学系研究科 代謝生理化学)

**P1-5** **心臓の発達に寄与するRNA結合タンパク質のin vivoスクリーニング**

三上 夏輝 (筑波大学 人間総合科学研究学群 ヒューマンバイオロジー学位プログラム)

Chair : Koji Yoshie (Department of Cardiovascular Medicine, Shinshu University School of Medicine)

**P1-6** **Acute decompensated heart failure with clinical scenario 1 and possible influence of GRK2 in vascular smooth muscle**

Hiroki Yano (Department of Cardiovascular Medicine, Nara Medical University)

**P1-7** **転写抑制因子NRSFを介した心不全進展の分子メカニズム**

稲住 英明 (京都大学医学部付属病院 循環器内科)

**P1-8** **血圧変動性が心肥大に与える影響と血圧変動性評価指標の検討**

松崎 美南 (宮崎大学 医学部 フロンティア科学総合研究センター)

**P1-9** **Interactions between gut microbiota and diet modulate myocardial mass in mice**

Takehiro Kamo (Division of Cardiovascular Medicine, The Institute of Medical Science, Asahi Life Foundation)

---

Chair : Wakako Kawarazaki (Center for Basic Medical Research, International University of Health and Welfare)

**P1-10** Sacubitril/Valsartan ameliorates renal tubulointerstitial injury in type 2 diabetic mouse with aldosterone excess.

Haruomi Nishio (Department of Nephrology, Graduate School of Medicine, Kyoto University, Kyoto, Japan)

**P1-11** 急性腎障害の慢性化をもたらす障害尿管の代謝変容の解明

長田 啓史 (名古屋大学 環境医学研究所 分子代謝医学分野)

**P1-12** 腎尿管細胞内 NFAT5 の血圧と体液量調節における意義の検討

泉 裕一郎 (熊本大学大学院生命科学研究部腎臓内科学講座)

**P1-13** 腎尿管細胞における NFAT5 の加齢に伴う腎機能障害への関与の可能性

丸山 功祐 (熊本大学大学院生命科学研究部 腎臓内科学)

---

Chair : Kenichiro Kinouchi (Division of Endocrinology, Metabolism, and Nephrology, Department of Internal Medicine, Keio University School of Medicine)

**P1-14** アゴニストと結合したグレリン受容体の立体構造

椎村 祐樹 (久留米大学 分子生命科学研究所 遺伝情報研究部門)

**P1-15** アンジオポエチン様因子3 (ANGPTL3) を標的とした新規脂質異常症治療ワクチンの開発

森永 潤 (熊本大学大学院 腎臓内科学講座)

**P1-16** The relationship between Chronic Kidney diseases and Modified Nucleosides

Yu Nagayoshi (Department of Nephrology Faculty of Life Sciences Kumamoto University/  
Department of Molecular Physiology, Faculty of Life Sciences Kumamoto University)

**P1-17** 代謝的に健康な肥満者と不健康な肥満者を特徴付ける腸内細菌と血清代謝物

上間 次己 (琉球大学大学院 医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座 (第二内科))

**P1-18** 原発性アルドステロン症 (PA) における治療後尿中ナトリウム/カリウム比は尿中アルブミン排泄量 (UAE) 改善の臨床的な指標になりうる

結城 真広 (国際医療福祉大学 三田病院 腎臓・高血圧内科)

## 一般演題 (ポスター発表 2)

### ポスター発表 2

10月12日(水) 14:10~14:50 第3会場 (Room E)

Chair : Tomohisa Nagoshi (Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, The Jikei University School of Medicine)

**P2-1** 2型糖尿病患者における SGLT2 阻害薬投与が腎機能および血清 Na 濃度推移に及ぼす影響

桑原 孝成 (熊本大学 生命科学研究所 腎臓内科学)

**P2-2** 糖尿病患者における SGLT2 阻害剤使用による血漿 BNP レベル変化の検討

原田 栄作 (熊本機能病院 循環器内科 / 熊本加齢医学研究所)

**P2-3** ラット腎うっ血モデルの腎間質線維化に対する SGLT2 阻害薬の効果

遠藤 明里 (東北医科薬科大学 医学部 内科学第三 (腎臓内分泌内科))

**P2-4** SGLT2 阻害薬カナグリフロジンは糖尿病ラットにおいて腎静脈還流血糖を低下させ、腎血管糖毒性を抑制する

中野 大介 (香川大学 医学部 薬理学)

**P2-5** 腎リンパ管は加齢に伴う新生因子の枯渇により退縮し、その維持は脱水に対して耐性を形成する

中野 大介 (香川大学 医学部 薬理学)

Chair : Hajime Nagasu (Department of Nephrology/Hypertension, Kawasaki Medical School)

**P2-6** ダール食塩感受性高血圧ラットにおいてエサキセレノンによって生じる血圧とナトリウムバランスの変化

西山 成 (香川大学医学部薬理学)

**P2-7** 食塩感受性高血圧におけるプラスミン阻害薬の降圧・腎保護効果の検討

柿添 豊 (熊本大学 腎臓内科)

**P2-8** セリンプロテアーゼ阻害薬による尿エクソソーム中 AQP2 減少を伴う利尿尿効果

柿添 豊 (熊本大学 腎臓内科)

**P2-9** デキサメタゾン投与初期は、尿中ナトリウム排泄量および尿量が増加し、皮膚のナトリウム・水分含量が減少する

北田 研人 (香川大学 医学部 薬理学)

**P2-14** Vasoactive intestinal peptide 遮断薬による CT26 腫瘍担癌マウスの M1 マクロファージ極性化およびマクロファージ貪食機能増強による腫瘍増殖抑制効果

西山 成 (香川大学医学部薬理学)

---

Chair : Teruhide Koyama (Department of Epidemiology for Community Health and Medicine, Kyoto Prefectural University of Medicine)

**P2-10 Ketone bodies suppress obesity and hypertension-induced pathological cardiac hypertrophy**

Toshihiro Yamada (International Research Center for Medical Sciences (IRCMS), Kumamoto University)

**P2-11 Identification of characteristic behaviors of endothelial cell as a fundamental process of angiogenesis**

Kazuo Tonami (Department of Physiological Chemistry and Metabolism, Graduate School of Medicine, The University of Tokyo)

**P2-12 Cardioprotective roles of endogenous AM2 against pressure stress**

Yunlu Zhao (Department of Cardiovascular Research, Shinshu University, School of Medicine)

**P2-13 AM-RAMP2系の血管恒常性制御を介したリンパ節転移抑制作用**

田中 愛 (信州大学 医学部 循環病態学教室)

## YIA 一次選考演題

---

Chair : Takayoshi Suganami (Department of Molecular Medicine and Metabolism, Research Institute of Environmental Medicine, Nagoya University)

**YIA1-1 Exploration of novel exosome-targeted strategy for diabetic kidney disease by drug library screening to inhibit intraglomerular crosstalk**

Daisuke Fujimoto (Department of Nephrology, Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences)

**YIA1-2 Identification of transferrin receptor 1 as a novel interacting factor of angiotensin II type 1 receptor-associated protein (ATRAP)**

Eriko Abe (Department of Medical Science and Cardiorenal Medicine, Yokohama City University Graduate School of Medicine)

**YIA1-3 miR206 secreted from growing skeletal muscle promotes angiogenic response in endothelial cells**

Hiroya Hayashi (Department of Cardiovascular Medicine, Osaka Metropolitan University Graduate School of Medicine)

YIA1-4

### **A site-specific phosphorylation of tau protein induced by diabetes mellitus exacerbates behavioral defect in Alzheimer's disease mouse model**

Yuki Ito (Department of Clinical Gene Therapy, Graduate School of Medicine, Osaka University/  
Osaka Psychiatric Research Center, Osaka Psychiatric Medical Center)

YIA1-5

### **Role of the endocrine factor "myonectin" in maintaining skeletal muscle function**

Yuta Ozaki (Department of Cardiology, Nagoya University Graduate School of Medicine)

---

Chair : Yuichiro Izumi (Department of Nephrology, Kumamoto University Graduate School of Medical Sciences)

YIA2-1

### **Characterization of aldosterone-producing cell cluster (APCC) at single-cell resolution**

Norifusa Iwahashi (Department of Medicine and Bioregulatory Science, Graduate School of  
Medical Sciences, Kyushu University)

YIA2-2

### **Human Epididymis Protein 4 Predicts Progressive Interstitial Fibrosis and Cardiovascular Events in Patients with Dilated Cardiomyopathy**

Masahiro Yamamoto (Department of Cardiovascular Medicine, Faculty of Life Sciences,  
Kumamoto University, Kumamoto, Japan)

YIA2-3

### **The importance of NP activity reserve in heart failure patients**

Daisuke Miyahara (Department of cardiovascular medicine, National Cerebral and Cardiovascular  
Center)

YIA2-4

### **Liver lipophagy ameliorates nonalcoholic fatty liver disease through lysosomal exocytosis.**

Yoshito Minami (Department of Cardiovascular Medicine, Kyoto Prefectural University of  
Medicine/Department of Cardiovascular Medicine, Omihachiman Community  
Medical Center)

YIA2-5

### **Substantial impact of 3-iodothyronamine on the regulations of intracellular temperature and natriuretic peptide expression in cardiomyocytes**

Hirotake Takahashi (Division of Cardiology, Department of Internal Medicine, The Jikei  
University School of Medicine)



## 協賛一覧

第26回日本心血管内分泌代謝学会学術総会の開催にあたり、  
下記の企業よりご支援をいただきました。ここに厚く御礼申し上げます。

旭化成ファーマ株式会社

アステラス製薬株式会社

アストラゼネカ株式会社

大塚製薬株式会社

小野薬品工業株式会社

キッセイ薬品工業株式会社

協和キリン株式会社

株式会社三和化学研究所

住友ファーマ株式会社

武田薬品工業株式会社

田辺三菱製薬株式会社

堤化学株式会社

帝人ヘルスケア株式会社

鳥居薬品株式会社

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

ノーベルファーマ株式会社

ノバルティスファーマ株式会社

バイエル薬品株式会社

ひむかAMファーマ株式会社

株式会社八尾ムトウ

(五十音順 2022年9月21日現在)

まだないくすりを  
創るしごと。

明日は変えられる。



アステラス製薬株式会社

[www.astellas.com/jp/](http://www.astellas.com/jp/)

 SKK

選択的DPP-4阻害剤/ビッグアニド系薬剤配合剤  
- 2型糖尿病治療剤 -

薬価基準収載



**メトアナ<sup>®</sup>配合錠LD**

**METOANA<sup>®</sup>LD-HD** (アナグリプチン/メトホルミン塩酸塩配合錠)

創薬、処方箋医薬品・注意-医師等の処方箋により使用すること



製造販売元

株式会社 三和化学研究所

名古屋市東区東外堀町35番地 〒461-8631

●ウェブサイト <https://www.skk-net.com/>

資料請求先・問い合わせ先

コンタクトセンター

**☎ 0120-19-8130**

受付時間：月-金 9:00-17:00(祝日は除く)

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。

2022年4月作成<TD-5/1>



速効型インスリン分泌促進薬／食後過血糖改善薬配合剤

(処方箋医薬品)



**グルベス®** 配合錠 (薬価標準収載)  
 配合OD錠 (薬価標準収載)

**GLUBES®** Combination Tab. ミチグリニドカルシウム水和物／  
 ボグリボース配合錠

**GLUBES®** Combination OD Tab. ミチグリニドカルシウム水和物／  
 ボグリボース配合口腔内崩壊錠

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること。

効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については製品添付文書をご参照ください。

【文献請求先および問い合わせ先】 キッセイ薬品工業株式会社  
 <文献請求先> くすり相談センター 東京都文京区小石川3丁目1番3号  
 0120-007-622  
 <販売情報提供活動問い合わせ先> 0120-115-737

製造販売元

**キッセイ薬品工業株式会社**  
 松本市芳野19番48号

GB224MN  
 2020年6月作成



## Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社  
[www.takeda.com/jp](http://www.takeda.com/jp)



遺伝子組換えファブリー病治療剤 薬価基準収載

**アガルシダーゼベータ BS**

点滴静注5mg「JCR」・点滴静注35mg「JCR」

アガルシダーゼ ベータ (遺伝子組換え) [アガルシダーゼ ベータ後続1]  
 生物由来製品 劇薬 処方箋医薬品\* \*注意-薬師等の処方箋により使用すること

※効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等の詳細  
 については、電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元 **JCRファーマ株式会社**  
 兵庫県芦屋市春日町3番19号

販売元 (文献請求先及び問い合わせ先) **住友ファーマ株式会社**  
 〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

〈製品に関するお問い合わせ先〉  
**くすり情報センター**  
**TEL 0120-034-389**  
 受付時間/月-金 9:00-17:30(祝 祭日も除く)  
<https://sumitomo-pharma.jp/>  
 2022年6月作成

**TEIJIN**  
 Human Chemistry, Human Solutions

**患者さんの  
 Quality of Lifeの向上が  
 私たちの理念です。**

**帝人ファーマ株式会社 帝人ヘルスケア株式会社**  
 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD006-TB-2103-1



人間が本来的に持つ生体のはたらきを活かした薬で病気を克服する

ひむか AM ファーマ株式会社 / Himuka AM Pharma Corp.

<https://www.himuka-am.com/>

〒880-0812 宮崎県宮崎市高千穂通2丁目5番36号 宮崎25ビル5階

あす ひら バイオ サポーター  
未来を拓く Bio Supporter



臨床検査用試薬・研究用試薬・関連機器・消耗品取扱い

# 堤化学株式会社



〒860-0083 熊本市北区大窪2丁目8番6号 TEL 096-356-8711 FAX 096-356-1546  
☎0120-489-223 E-mail [info@tsutsumi-chem.co.jp](mailto:info@tsutsumi-chem.co.jp) [www.tsutsumi-chem.co.jp](http://www.tsutsumi-chem.co.jp)



**WISM 21** ワイズム21  
ムトウの医療総合支援システム

## WISM 21は、21世紀の医療をトータルでサポートし、お客様のニーズと共に成長するシステムです。

病院の近代化が進むなか、取り巻く環境が厳しさを増しつつある医療施設において、WISM21は医療の変化に対応すべく、お客様のためにご用意させていただいた医療総合支援システムです。必要な時に必要なシステムを選び、ご利用ください。

 医療・理化学機器の販売・アフターフォロー

 情報システムの提案・開発

 在宅医療・福祉

 最新医療情報の提供

 経営分析・診断・改善

 通信販売

 医療機器の設置・メンテナンス・保守契約

 資金計画・償還計画・物件調査及び建築

 貿易

 学会イベントの企画・運営

 大型プロジェクトコンサルティング

 旅行・広告代理

 SPDシステム

医療器械・理化学器械・光学器械・試薬

**WISM** 株式会社 **八尾ムトウ**

本店 / 〒860-8580 熊本市中央区本荘5丁目10番26号  
TEL 096-371-3322

八代支店 / 〒866-0876 熊本県八代市田中西町10-10  
TEL 0965-35-1711

天草支店 / 〒863-0025 熊本県天草市古川町7番2号  
TEL 0969-66-9791

菊池支店 / 〒861-1315 菊池市木柑子1427-11  
TEL 0968-41-8557





ウィルソン病治療剤（銅吸収阻害剤）・低亜鉛血症治療剤

薬価基準収載



**ノベルジン<sup>®</sup>錠 25mg・50mg**

酢酸亜鉛水和物製剤 NOBELZIN<sup>®</sup> Tablets 25mg・50mg

薬価基準収載

**ノベルジン<sup>®</sup>顆粒 5%**

発売準備中

酢酸亜鉛水和物製剤 NOBELZIN<sup>®</sup> Granules 5%

劇薬、処方箋医薬品<sup>(注)</sup> 注)注意-医師等の処方箋により使用すること ㊄ノベルファーマ株式会社 登録商標

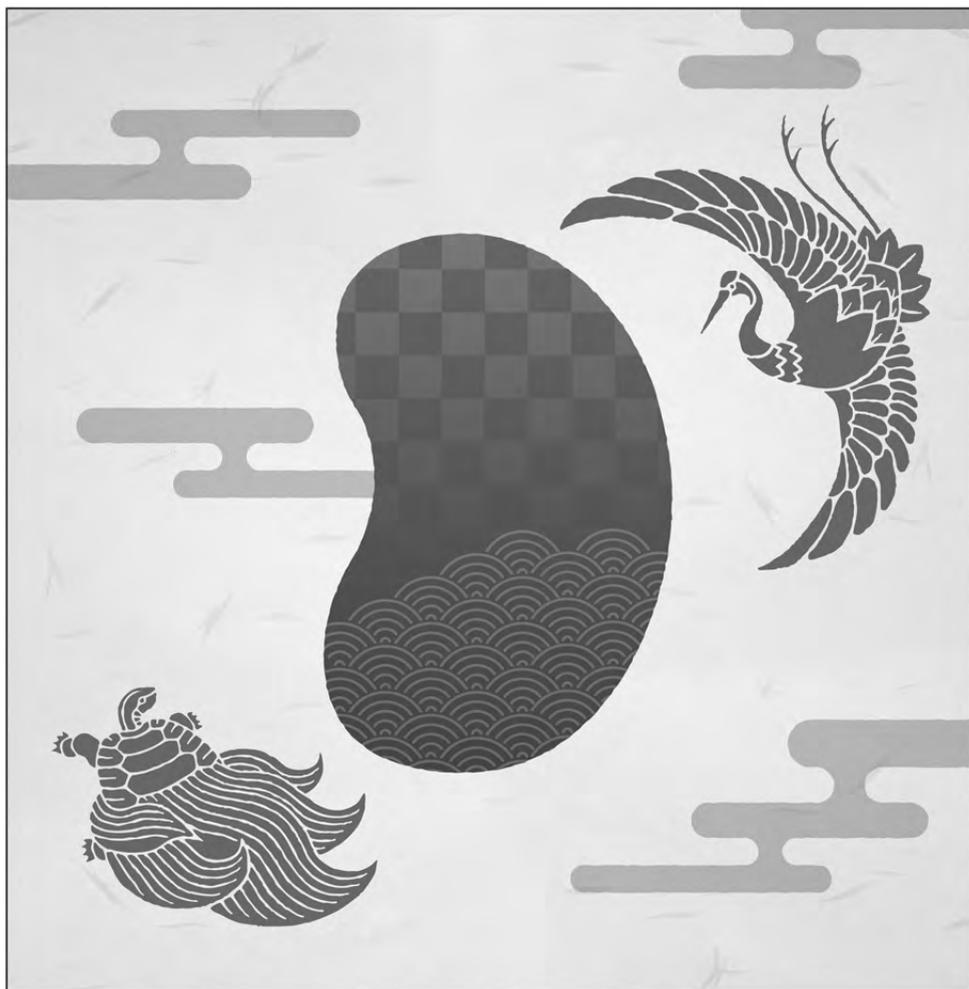
【効能又は効果】、【用法及び用量】、【禁忌】、【重要な基本的注意】等については、製品添付文書をご参照ください。

**Nobel**pharma

製造販売元  
ノベルファーマ株式会社  
東京都中央区新川 1-17-24

[資料請求先・製品情報お問い合わせ先]  
ノベルファーマ株式会社 カスタマーセンター  
フリーダイヤル：0120-003-140

2021年5月作成



HIF-PH阻害薬 腎性貧血治療薬

薬価基準収載

**エナロイ<sup>®</sup>錠 2mg・4mg**

ENAROY<sup>®</sup> tablets 2mg・4mg (エナロデュスタット錠)

創薬、処方箋医薬品<sup>※</sup>

注) 注意 - 医師等の処方箋により使用すること

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、製品添付文書をご参照ください。

販売元  
 **鳥居薬品株式会社**  
 東京都中央区日本橋本町3-4-1

製造販売元  
 **日本たばこ産業株式会社**  
 東京都中央区日本橋本町3-4-1

文献請求先及び問い合わせ先  
 鳥居薬品株式会社 お客様相談室  
 TEL 0120-316-834  
 FAX 03-3231-6890

2021年12月作成

# *Creating for Tomorrow*

昨日まで世界になかったものを。

私たち旭化成グループの使命。

それは、いつの時代でも世界の人びとが“いのち”を育み、  
より豊かな“くらし”を実現できるよう、最善を尽くすこと。

創業以来変わらぬ人類貢献への想いを胸に、

次の時代へ大胆に応えていくために一。

私たちは、“昨日まで世界になかったものを”創造し続けます。



旭化成ファーマ株式会社

Asahi**KASEI**

KAITEKI Value for Tomorrow  
三菱クミカルホールディングスグループ

 田辺三菱製薬

この手で、  
未来を。

感じる 描く 動かす  
創る 育てる 届ける  
そして 抱きしめる

健康で長生きできる未来を  
病とその不安を乗り越える未来を  
理想のその先にある未来を

一人ひとりの手で  
みんなの手で  
希望を信じるこの手で



田辺三菱製薬のシンボルマークは手のひらをモチーフにしています。

[www.mt-pharma.co.jp](http://www.mt-pharma.co.jp)

# たった一度のいのちと歩く。

## 私たちの志

ここにいる責任と幸福。

私たちの命には、いつもかけがえのないいのちがある。大切に育てられ、いつくしみの甲斐で育ち、夢に胸を膨らませたい。そして、いつか、この世に帰るまで、大切に生きていきたい。

私たちは、この世に生まれてからも大切なものを大切に育てたい。そして、この世に帰るまで、大切に生きていきたい。

仕事は、人をしあわせにできる。いつも、私たちはそのことを忘れずにいたい。私たちは、さまざまな場所で生まれ、さまざまな時間を経て、さながら奇蹟のように、この仕事、この会社、この仲間に出会った。そのことを心からよこす。そして、いまここにいる自分に感謝し、その使命に心血をそそぎ、かけがえのないいのちのために働くことを、誇りとしよう。人間の健康を、人間のために使うしあわせ。私たちは、ひとりひとりが協和キリンです。たった一度の、いのちと歩く。



私たちの志  検索